DATA〔薬科学専攻　修士課程〕

■研究分野

基礎薬科学（有機化学・薬用資源学、物理・分析化学、生命科学、衛生・環境学、薬理学、薬剤学）、応用薬科学、臨床薬科学

■授業科目（参考；2014年度）

	科目	単位	履修要件		開講形式	
			一般	社会人	昼間	夜間
研究指導	研究指導A	−	必		○	
	研究指導B	−		必		○
論文研究作成	薬科学論文作成実験Ⅰ	6	必・教		○	
	薬科学論文作成実験Ⅱ	6	必・教		○	
	実践薬科学課題研究	4		必		○
演習	薬科学特別演習Ⅰ	2	必・教		○	
	薬科学特別演習Ⅱ	2	必・教		○	
	実践薬科学演習Ⅰ	2		必		○
	実践薬科学演習Ⅱ	2		必		○
実習	実践薬科学特別実習Ⅰ	1		必		○
	実践薬科学特別実習Ⅱ	1		必		○
講義	（基礎薬科学分野）					
	有機化学特論	2	選・教	選	○	
	有機合成化学特論	2	選・教	選	○	
	薬用資源学特論	2	選	選	○	
	物理化学特論	2	選・教	選	○	
	分析化学特論	2	選・教	選	○	
	生化学特論	2	選・教	選	○	
	細胞生物学特論	2	選・教	選	○	
	ゲノム機能学特論	2	選・教	選	○	
	衛生・環境学特論	2	選・教	選	○	
	薬理学特論	2	選	選	○	
	薬剤学特論	2	選	選	○	
	（応用薬科学分野）					
	医薬品開発学特論	2	選	選		○
	薬物動態・相互作用学特論	2	選	選		○
	医薬品薬効・安全性評価学特論	2	選	選		○
	医薬品情報・評価学特論	2	選	選		○
	治験・CRC特論	1	選	選		○
	臨床統計解析学特論	1	選	選		○
	遺伝子診断・個別化医療学特論	1	選	選		○
	化学療法学特論	1	選	選		○
	漢方・中医薬療法特論	1	選	選		○
	サプリメント・栄養化学特論	2	選	選		○
	一般用医薬品概論	1	選	選		○
	ジェネリック医薬品概論	1	選	選		○
講義	（臨床薬科学分野）					
	臨床医学特論Ⅰ	2	選	選		○
	臨床医学特論Ⅱ	2	選	選		○
	薬物治療学特論Ⅰ	2	選	選		○
	薬物治療学特論Ⅱ	2	選	選		○
	病態生理学特論	2	選	選		○
	医療倫理学特論	1	選	選		○
	臨床処方学	1	選	選		○
	臨床栄養学特論	1	選	選		○
	臨床検査学特論	1	選	選		○
	TDM概論	1	選	選		○
	病院薬局管理学	1	選	選		○
	看護学概論	1	選	選		○
	臨床コミュニケーション概論	1	選	選		○
	医療経済学概論	1	選	選		○
	医療薬事行政論	1	選	選		○
	医療英語演習	1	選	選		○
	保険薬局経営学	1	選	選		○

■履修方法と修了要件（2014年度）

1　一般学生は下記の３条件をすべて満たすこと。

(1)２年以上在学する。

(2)薬科学論文作成実験Ⅰ、Ⅱ（12単位）、薬科学特別演習Ⅰ、Ⅱ（４単位）と講義科目14単位以上の合計30単位以上を修得する。

(3)研究指導Aを受けて、修士論文の審査および最終試験に合格する。

（中高理科教員専修免許状を得ようとする者は、教科専門科目を24単位以上修得すること）

2　社会人特別選抜による学生は下記の３条件をすべて満たすこと。

(1)２年以上在学する。

(2)実践薬科学課題研究（４単位）、実践薬科学演習Ⅰ、Ⅱ（４単位）、実践薬科学特別実習Ⅰ、Ⅱ（２単位）と講義科目20単位以上の合計30単位以上を修得する。

(3)研究指導Bを受けて、課題研究報告書の審査および最終試験に合格する。

■学位授与

上記の修了条件を満たした者に「修士（薬科学）」の学位を授与する。

長期履修学生制度

p.54をご参照ください。

科目等履修生制度

p.57をご参照ください。